

台湾留学

月例報告書 5月

留学先：台湾師範大学
留学形態：交換留学
期間：1セメスター

ビザの延長

私は半年以下の交換留学のため、台湾に来る前に停留ビザを取得しました。停留ビザは最長180日まで延長できますが、一回あたりの最大日数は90日です。そのため、ビザが切れる前に台湾の移民署でさらに90日分のビザの延長をしに行きました。

申請書は移民署で貰うこともできますし、事前にネットでダウンロードすることも可能です。ビザ延長に必要な書類は以下でした。

- ・申請用紙
- ・在学証明書（師範大学のもの）
- ・パスポート
- ・パスポートのコピー

※担当の署員さんによって必要書類が異なる場合があるようです。



食べ物

①剉冰

台湾では普通のかき氷を「剉冰」といいます。漢字通り発音すると「ツオピン」なのですが、台湾の人は「ツアピン」と発音するそうです。日本にいた時は知らなかったのですが、台湾に来たことで漢字通りに読まない言葉がたくさんあることを知りました。（日本から来た言葉や、台湾語から来た言葉は特にその傾向が強い気がします。）

ちなみに中国大陸では刨冰と呼ぶのが一般的なようです。



②雪花冰

日本では「台湾かき氷」などと呼ばれているのが、「雪花冰」です。氷そのものに味がついていて、氷がホワホワなのが特徴です。フルーツもたくさんのもっていて很好吃👍



③鼎泰豊

台湾といえば鼎泰豊！台湾生活3ヶ月目にして初めて鼎泰豊に行きました。有名店なので長時間待つことも覚悟していたのですが、平日だったのと17:30ごろで少し早めの時間帯だったのもあり、20分も待たず店内に入ることができました。

とりえず有名な小籠包を注文。鼎泰豊の小籠包は皮が薄めで、割るとスープが出てくるタイプでした。とても上品な小籠包で美味しかったです。エビ炒飯も美味しかったですのでおすすめです！



④一人鍋

台湾には一人鍋のお店がたくさんあります。そして多くの店では、鍋を頼めばドリンクバー、アイス、ポップコーン、ご飯が食べ放題です。大学の側にもお鍋のお店があり、コスパ良くたくさん食べたい時はよくここに行きます。

また、日本でお鍋に入れる葉物といえば白菜ですが、台湾のお鍋には白菜ではなくキャベツが入っています。そのほかには春雨のような麺、練り物、豆皮、豆腐、猪血糕などが入っている場合が多いです。お肉は牛肉、豚肉、羊肉から選べます。

中華圏の人たちはどちらかというと大人数で食べるのが好きなのかと思っていたので、一人鍋のお店が結構あることに少し驚きました。



チャイナシューズ



日本人留学生の友達が履いていたチャイナシューズがとても可愛かったので私も欲しくなり、買いに行きました。「鼎隆百貨」というお店で、西門町と国立台湾博物館のちょうど中間地点にあります。日本人観光客が多いのか、店員さんは少し日本語が話せるので安心です。たくさんのチャイナシューズがおいてありとても悩みましたが素敵な靴を見つけられてよかったです。

またまた余談ですが、台湾の人曰く「台湾の人はあまりチャイナシューズを履かない」とのことでした。

台北植物園

台北植物園は無料で入ることができます。植物を見るために入ったわけではなく、通り道として入ったのであまり植物は見ませんでした…

ただ、散歩するだけでも素敵な場所だと思います。大きなヤシの木(?)が生えていて、いかにも南国!という雰囲気です。

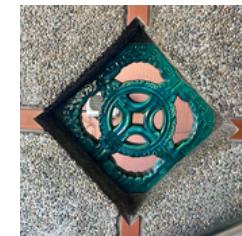


入り口。高級感がある。



陶芸の町、鶯歌

鶯歌は陶芸の町と言われています。台北駅から台鐵に乗り、鶯歌で降りるとホームと改札をつなぐ階段にさっそく陶磁器の装飾が。→



鶯歌陶器博物館に行きました。まず無料のロッカーがとても素敵でした。陶器の扉は一つ一つデザインが違います。

ここではアートとして、生活としての陶芸を学ぶことができ興味深かったです。



おしゃれなロッカー。しかも無料。